

美東接戦制しV2

県中学ハンド

ハンドボールの第47回県中学校春季選手権最終日は29日、八重瀬町東風平運動公園体育館で行われ、女子決勝は美東が接戦の末に仲西を21-20で制して2年連続3度目、男子決勝は神森の堅守が機能して沖縄東を24-19で破って5年連続17度目の優勝を果たした。

▽進決勝

神	森	24	119
	延	13	911
	長	31	24
	浦	3	24
	西		西

(743)

沖	縄	東	27	189
			1011	21
			22	仲
			西	西

浦	西	28	1117
		139	22
		仲	西

神	森	24	159
		910	19
		仲	沖
		縄	東

仲	西	28	1414
		147	21
		南	風
		原	原

美	東	22	1012
		107	17
		神	森

神	森	25	1411
		97	16
		南	風
		原	原

美	東	21	1011
		911	20
		仲	西

美	東	21	1011
		911	20
		仲	西

鎮守の攻守 終盤光る

ハイライト



女子決勝 美東一仲西 後半、美東の鎮守笑梨が20点目のシュートを決める＝東風平体育館（落合綾子撮影）

女子美東は粘る仲西を21-20で破って2年連続3度目の優勝を決めた。残り5分、18-19の場面で鎮守笑梨がチームに貢献した。GK上地鈴奈の投げた速攻のロングボールは相手に当たったが、素早く拾ってエース名嘉陽菜にパスを送り、同点ゴールを演出した。

直後の守備では、相手の目線や体の向きからパスコースを読んでボールを奪



女子優勝の美東

神森 逆転で5連覇

守り機能 底力発揮

昨年、全国3冠を果たした男子神森は苦しみながらも底力を発揮。沖縄東に24-19の逆転勝ちで5連覇を果たし、友利杉彦監督は「かなりほっとしています」と胸をなで下ろした。

浦西との準決勝は延長でも決まらず、7分スロー戦の辛勝だった。疲れもあつてか、決勝の前半は9-10で折り返した。

友利監督が「エンジンのかかりが遅い」と言うチームは、ここから火が付いた。ハーフタイムに「プレーに集中して疲れを忘れよう」と選手が確認。途中出場のGK山純平は「足が動いて当たりも強くなっていた。抜かれてもカバーするのでシュートも止めやすかった」と振り返った。

守りが機能すると攻撃も活性化した。右サイドから再三ゴ



男子優勝の神森中(左)男子決勝 神森-沖縄東 前半、神森の東江慶が3点目のシュートを決める

